

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和5年9月29日

和泉市長 あて

団体名 一般社団法人和泉青年会議所

代表者名 亀田 卓馬

所在地 和泉市府中町 5-8-16

電話番号 0725-43-2067

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	第12回わんぱく相撲 和泉場所
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	610,000 円 (うち、対象経費 610,000 円)
支援金 交付申請額	305,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

事業計画書

1 事業名	第12回わんぱく相撲 和泉場所
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 和泉市の人口動向の分析では、今後本格的に少子高齢化が進行することが明らかとなっており、そのような中、いま先進国で生まれる子供の50%は105歳まで生存するといわれています。そのように長生きしていく子供たちに、今後人生で立ち足る困難、試練に勇敢かつ柔軟に立ち向かう心を身につけてもらう必要があると思っています。「スポーツとしての相撲」を通じ、「礼」を学び、「努力すること」や「思いやり」等、社会生活に必要な徳性の涵養の場を与えられ、「わんぱく相撲」を開催することで子供たちに夢を与え、励みとすることができる。「明るい豊かな社会」作りを目指す各地青年会議所の基本的な理念であるコミュニティ（地域社会）の形成という重要な役割を果たすと同時に「心豊かな青少年の育成」を強力に推進することができる。	
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 団体・参加者・地域全体のメリット等 国技である相撲を通じて他人に対する礼儀や思いやりの心を育む「わんぱく相撲」を行い、参加した子供たちに、今後人生で立ち足る困難に、勇敢かつ柔軟に立ち向かう心を身につけてもらうことを目的とします。	
4 事業内容（※別紙添付可）	
① 問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 少子高齢化社会で長く生き抜いていかなければならない子供たちを対象に、「わんぱく相撲 和泉場所」を開催し、学年別男女別でトーナメント方式で対戦をします。わんぱく相撲とは小学生児童を対象とした相撲大会で、和泉から勝ち抜けば、大阪大会そして全国決勝大会まで勝ち進むことができます。	
② 実施期間（日時）	令和6年5月開催予定
③ 実施場所	和泉市立市民体育館
④ 主な対象者	和泉市在住全小学生
⑤ 参加予定者数	250名
⑥ 告知方法	全小学校全生徒にチラシ、申込書の配布を行い、また主要の場所にポスターの掲載をお願いし、PR活動を積極的に行う。

5 事業スケジュール	
次期（月）	<p>内容</p> <p>令和5年メンバーによる打合せ</p> <p>令和6年1月和泉市子ども会連合会と打ち合わせ</p> <p>2月 広報いずみ掲載依頼</p> <p>3月 校長会にて趣旨説明及び配布依頼</p> <p>4月 和泉市子ども会育成連絡協議会に協力依頼</p> <p>5月 第12回わんぱく相撲和泉場所 開催</p>
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 (実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)	
① 公益性	<p>今後少子高齢化社会を生きる和泉市の子供たちに、人生でたちはだかる困難に対し勇敢かつ柔軟に立ち向かう心を身に付けてもらう必要があるという地域的課題に対して、「わんぱく相撲」に参加してもらうことで、そのような心を身につけてもらうことができます(③)。</p> <p>また子を持つ親たちの、「子供たちが心身ともに健やかに育てほしい」という思いに沿うものであり、本事業は広く和泉市内の子を持つ親たちの共感を得られる事業であると考えます。(①②)</p>
② 継続性	<p>本事業は今回で12回目の開催であり、継続性についてはすでに明らかですが、今後も継続的に開催する予定であり、さらに、市民が参加しやすい場所を選定することや、地域の他団体と協働することにより本事業の発展や継続的な展望が期待できるものと考えます(④)。</p> <p>また、参加した子供たちが、相撲そのものや、体を動かすことに興味を持つことで、心身ともに健全に生育していくことに繋がり、本事業の成果は一回的なものに限らず、参加した子供たちを通じて、広く波及していくものと考えます(⑤)。</p> <p>なお、当法人は、会員の会費を主たる財源とする法人であり、本事業を実施するにあたっては、自主財源をすでに確保しています。また、今後本事業へ協賛してくれる企業からの協賛金を募ることにより、段階的ではありますが、補助金以外の財源の確保にも努めていきます(⑥)。</p>
③ 実行性	<p>当法人は、2024年に創立60周年を迎える団体であり、構成員については入れ替わりがあるものの、毎年度、理事長を頂点とした安定的な組織構成を現在まで継続しています(⑩)。</p> <p>本事業の目的及び効果は、4. 事業内容記載のとおりですが、目的及び効果・予算については当法人の理事会により精密に審査したものであり、また、過去11回開催した経験も、当法人の組織継続性を通じて蓄積されており、本事業は十分に実行可能な方法で立案されています(⑦)。</p> <p>また、期待できる成果を確保するためには、子供たちが安心安全に相撲を取ることができる環境を整備することが肝要であるところ、審判員については堺相撲連盟に派遣してもらい、更に万が一の場合に備え医療スタッフに待機していただくことで、子供たちの安全に相撲を取ることができる体制を確保します(⑧)。</p>

	<p>申請額については収支予算報告書記載とおりですが、上記審判員への謝礼は必須であり、また、万が一の場合に備え保険にも加入する必要があります。更に、参加者を募るために市民に広く本事業を告知する必要があります。更に、ポスター制作費等も必要となります。以上のとおり、事業の収支予算については、必要最低限のものであり、申請額については適切なものであると考えます(⑨)。</p>
④協働性	<p>本事業は、教育委員会の後援名義を取得する予定であり、教育とも関連する事業であることから、和泉子ども会育成連絡協議会を通じることも参加者を募る予定であり、対象も和泉市内の子供たち及びその親であることから、広く市民及び団体等が参画することができる事業です(⑩)。</p> <p>このような参加呼びかけ方法をとることにより、市民と教育機関の相互連携の強化を促進することにも繋がると考えています(⑫)。</p> <p>本事業を実施することにより、子供たちにとっても学校の枠を超えた友情を醸成することや、親世代にとっても、他の親との交流や、本事業の成功への積極的協力が期待できるものであり、世代や地域を超えて、幅広い交流、協力が図られる事業です(⑬)。</p>
⑤公開性	<p>本事業の開催については、当法人の SNS への掲載、また、和泉市内の飲食店等の店舗や別紙リスト記載の和泉市内の各種団体へのポスター掲示のお願い、教育機関を通じて参加者募集等の告知方法により、事業内容を積極的に発信していきます(⑭)。</p> <p>上記のとおり、子供たちやその親が足を運ぶ場所で積極的に告知することで、より多くの市民が関心を持ち、事業に参加できるように工夫していきます(⑮)。</p>
⑥発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	<p>わんぱく相撲の開催は私たち和泉青年会議所にとって、和泉市民の方々や子供たちとふれあい、対話し、市民の皆様の考えを直接聞くことが出来る数少ない機会です。そのため、より多くの子どもたちに参加してもらうのはもちろんのこと、市民の皆様と和泉JCとの親交を深めることも目的としています。子どもたちは地域の将来を担う一番の宝であり、物事にチャレンジしていく精神を養う機会を提供し、無限の可能性に満ちたチャレンジ精神にあふれる若者が活躍する地域社会を創り上げていかなければなりません。本事業は、日本の伝統文化である相撲を通じて、子どもたちが、体と体でぶつかり合い、勝ち負けを競うことでチャレンジ精神を養うことができます。また子供たちが勝っても負けても、地域の大人たちが子どもたちに頑張ったと褒める場を創ることで、子供たちがチャレンジすることの楽しさを感じ自己肯定感を養うことができます。このように、本事業は子どもたちの健全育成に繋がり、また、親が地域社会に期待する、子どもたちが伸び伸びとチャレンジできる機会を提供することにも繋がります。このような魅力のある事業であるからこそ、広く市民の参加が期待できるものであります。</p>

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： 第12回わんぱく相撲 和泉場所

1. 【収 入】 （単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	305,000	和泉市市民活動推進支援金
自主財源	305,000	和泉青年会議所委員会事業予算
合 計	610,000	

2. 【支 出】 （単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	115,000	審判謝礼費（30,000円） 柔道整復師菓子折り代（10,000円） 参加記念品お菓子（300円×250人）
消耗品費	60,153	文房具、コピー用紙、封筒、事務用品
食糧費	32,000	審判弁当代（1,000円×20人） スタッフ飲料代（200円×60人）
印刷製本費	288,717	ポスター（A2片面カラー100枚） チラシ（A4両面片面カラー13000枚） 手形色紙用シール（250枚） 色紙（250枚）
役務費	96,130	保険料、通信費、郵便費 わんぱく相撲登録料（わんぱく相撲は全国で行われており、和泉大会にエントリーするため必要）
使用料及び賃借料	18,000	和泉市立市民体育館
合 計	610,000	
対象経費	610,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書 追加資料

1 団体名	一般社団法人和泉青年会議所
2 事業名	第12回わんぱく相撲 和泉場所
3 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
4	令和5年度事業における反省点・課題・問題点とそれをどのように改善するかについて記入してください。 問題点：令和5年度事業は予定の人数の参加者が定員割れしてしまいました。 改善点：本年度は広報PRに力を入れ、もっと参加人数を増やす予定。 反省点・改善点：表彰式などすべて学年ごとに行なったが、参加者たちがどのようにしたらいいかわからず会場内で混乱する場面があったので本年度は、全学年1度で行うように変更します。
5	令和6年度事業において以下のことについて記入してください。 ・新たに取り組む事項 ・令和5年度事業と比較し発展・拡大が見込める事項 ・その他支援金を受けることで事業計画・予算・地域や市民に与える効果等に变化がある事項 等
	令和5年度事業と比較して、昨年は対象小学生の参加人数が予定より少なく会場等含め、多数受け入れる体制をとっているため本年度は広報等に力を入れ参加人数を増やす見込みである。 支援金を受けることで、参加者へのかかる費用の負担が減り和泉市において参加人数を多く募集することができる。

※本資料に記載いただいた内容を含め審査を行います。